

佳作

## 大切ないのち

鹿児島県 始良市立加治木小学校三年 野中 香海

わたしには、ずっと気になっていることがありません。それは、どうして人間は生きていますのか、という事です。どうせいつかはしんでしまうのなら、生きなくてもいいのではないかと思うのです。いやなことをがまんしたり、かなしい気持ちになったりしながら生きていくことに、何か意味はあるのかなあ。

お父さんやお母さんに

「どうして人間は生きていますの。」

と聞いてみても

「分からないなあ。」

という返事ばかりです。

じ書で、「生きる」の意味を調べてみると、「いのちがある。いきをしている」「生活する。くらす」とありました。やっぱり、なぜ生きていますのか理由

は分かりません。

ある日、こわいゆめを見ました。くわしくはおぼえていませんが、だれかにおいかけられていたのか、ひっしでにげるゆめでした。一生けんめい走りながら、わたしは、

「こわいよ。しにたくないよ。」

とさげんでいました。そこで目がさめました。おねがドキドキしていました。

しにたくない。わたしは、はっきりとそう感じていました。生きている理由は分からなくても、しにたくはない。お父さんもお母さんも、みんなもそんなのかもしれない。そんなことを考えていたら、かなしいお知らせがとどきました。いとこのまなちゃんのお母さんがびよう気でなくなったのです。びっくりしました。少し前に一しよに水族館に行った時はとても元気そうだったのに。まなちゃんは四さいです。お母さんがいないって、どんなかんじでしょう。わたしだったら、かなしくてかなしくて毎日なきます。お母さんには生きていてほしいです。おこられることがあっても、一しよにごはんを食べたり、おふろに入ったり、本を読んだりしたいです。まなちゃんもきつとそうだと思います。そして、ま

なちゃんのお母さんも、もっともっと生きて、まなちゃんの手をつないだり、だっこしたり、お買い物をしたりしたかったはずです。いのちがある、って、それだけで温かくて、しあわせなことなんだと思いました。それまでとちがって、「生きていきたい」と思うようになりました。どんなふうに生きたいかという、生きている理由は分からなくていいのです。いやなことがあっても自分でのりこえて、楽しく生きていきたいです。

この間、まなちゃんが遊びに来てくれました。一しよに洋服を買いに行ったり、バーベキューをしたり、おふろに入ったりしました。だっこもしました。だっこしたら温かかったです。夜は一しよにねました。たくさん遊んだのでつかれたけど、まなちゃんが帰ってしまったら、まだ遊びたかったなあと思いました。これからもなかよく、楽しく生きていきたいなあと思っています。